

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<p>峡東家庭教育支援チーム (呼称: 特定非営利活動法人すてっぷ・あっぷる) URL: kosodate-oyasodachi-apple.org</p>
②活動拠点	山梨県甲州市子育て支援施設内 地域子育て支援センターあっぷっぷ
③活動範囲	主に 甲州市 山梨市
④組織体制	<p>17 人 子育てサポーター 6人、元教員 4人、保育士 6人、 心理カウンセラー 1人</p>
⑤活動開始年度	平成20 年度
⑥問合せ先	<p>(部署・氏名等) 塚田純子 (TEL)0553-39-9382 (E-mail)info@kosodate-oyasodachi-apple.org</p>

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
②活動対象 (複数チェック可能)	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 </p> <p>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

①子育て・親育ち事業

(親学習講座、家庭教育出前講座(甲州市・山梨市内小学校、保育園など)、
託児付親リフレッシュ講座、妊婦対象講座など)



③活動内容

②一時預かり事業

(未就園児の一時預かり)



③地域子育て支援拠点事業
(市委託 地域子育て支援センター運営)



③活動内容



④個人の暮らしを支援する事業
(特別な配慮を必要とする家庭への支援者派遣)

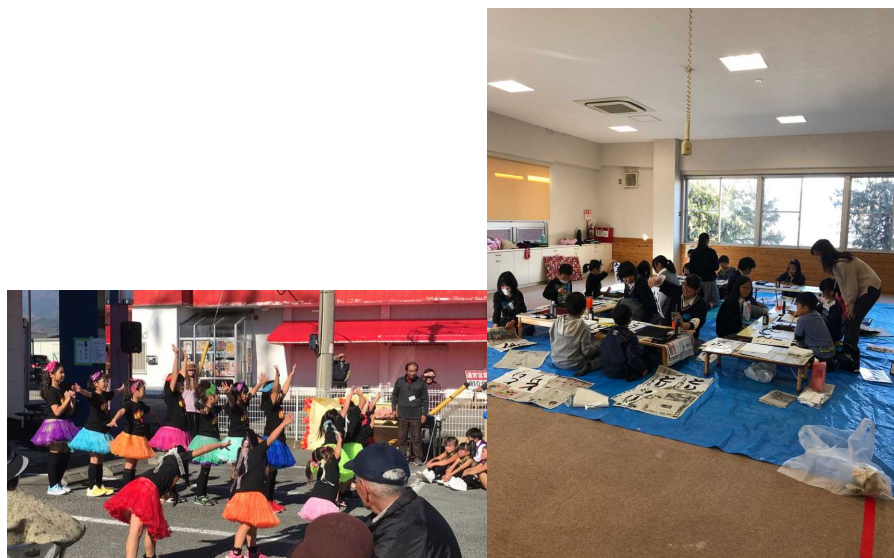


⑤子ども放課後事業

(学童の放課後や長期休みの居場所作り、ダンス教室など)



③活動内容



⑥中高大インターンシップ事業

(中学生・高校生・大学生の職場体験、ボランティア体験、赤ちゃん抱っこ体験など、AO入試、推薦入試などに対応)





⑦各種団体との協働連携事業

(イベント開催、甲州市こどもフェスタ実行委員会、山梨県青少年育成ネットワーク参加、その他の子育て支援関係ネットワーク作りなど)

⑧女性の心とからだを支援する事業

(不妊治療などで悩んでいる女性の支援、10代の若者が自分のからだを知る支援など)



<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>2020年度はコロナ禍のため、様々な制約もあったが、新しい取り組みや展開も行う事ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)は、毎年多くの利用者があり、様々な活動、相談などを行うことができている。市を越えて行政機関との連携も良好で、2021年度からは特別な配慮の必要な家庭へも支援を強化する。 ・一時預かり事業はコンスタントに利用者がいて、地域ならではの農繁期の需要や、待機児童対策にもなっている。また、親の相談やその後の支援につなげることもできている。 ・中学生、高校生のボランティアは非常に申込が増えている。特にAO入試、推薦入試にボランティア活動の占める割合が増え、進路選択を見据えて意欲的に参加したい学生が多くなっている。また、妊婦や子育て中の母親と交流することで、学生が自分の中から作りや将来について考える機会ともなっている。 ・小学生対象の講座も定着して、保護者の相談も受けることができている。今年度は甲府の方でも活動場所を拡げた。コロナが落ち着いたら、さらに他団体とも連携しながら何ができるかを考えていきたい。 ・毎年行っている甲州市・山梨市の就学児健診の際の親学習講座も、コロナのため見送った学校もあったが、かえて今だからこそ行いたいと言われた学校もあり、実施した学校では良い講座を行う事ができた。子育てに不安を持つ親も増えていて、親子ともにストレスを多く抱えている中で、少しでも不安を軽減し、自信をもって子育てを行えるよう支援していきたいと考えている。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (子育て支援センターは甲州市の委託事業、一時預かり事業は補助事業、その他は自主事業)</p>